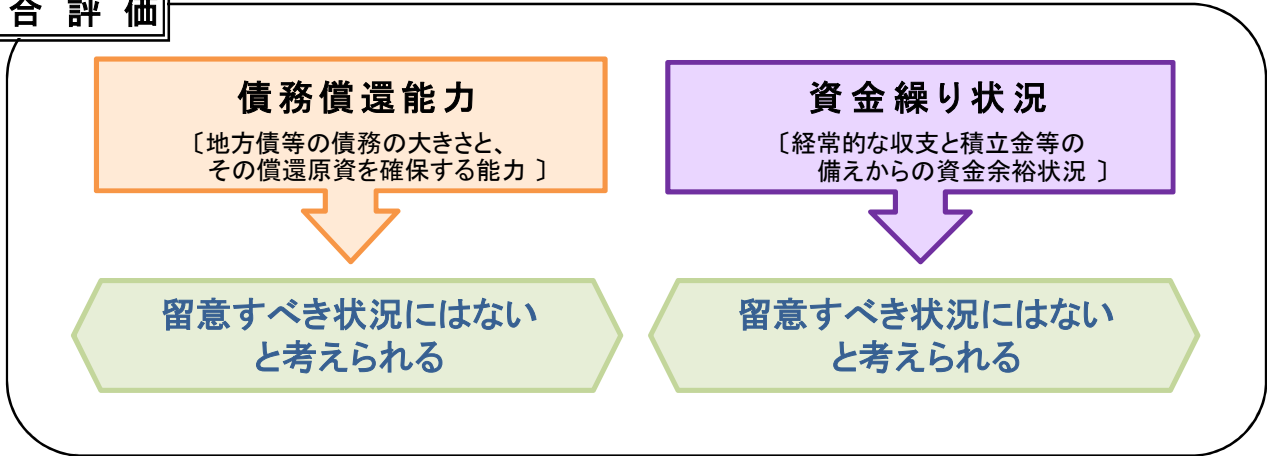


# 『参考資料』

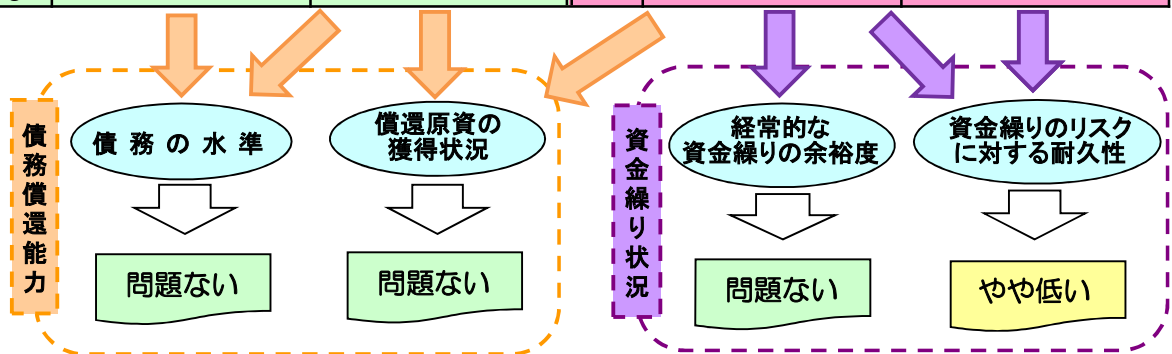
団体名：白老町

## 総合評価



## 財務指標 (平成28年度決算)

指標	① 実質債務月収倍率 〔 $\frac{\text{実質債務}}{\text{行政経常収入} \div 12}$ 〕 ※一月当たり収入の何ヶ月分の債務があるかを見る指標	② 債務償還可能年数 〔 $\frac{\text{実質債務}}{\text{行政経常収支}}$ 〕 ※一年間で生み出される償還原資の何倍の債務を抱えているかを見る指標	指標	③ 行政経常収支率 〔 $\frac{\text{行政経常収支}}{\text{行政経常収入}}$ 〕 ※収入からどの程度の償還原資を生み出しているかを見る指標	④ 積立金等月収倍率 〔 $\frac{\text{積立金等}}{\text{行政経常収入} \div 12}$ 〕 ※一月当たり収入の何ヶ月分の積立金があるかを見る指標
	注意	24.0月			問題なし
やや注意	18.0月	15.0年	やや注意	10.0%	2.4月
問題なし	13.1月	6.4年	注意	0.0%	1.0月



## 今後の見通しと留意点

貴町の平成28年度の財務状況の総合評価は留意すべき状況にはないといえる。また、「白老町財政健全化プラン(改訂版)」の収支見通しに基づく平成32年度の財務状況においても、留意すべき状況にはない見通しとなっている。ただし、財務指標に関しては、積立金等月収倍率はやや低い水準を脱するには至らず、行政経常収支率は低下する見通しとなっていることから、今後は、今まで以上に収支のバランスを意識した行財政運営に取り組まることが望まれる。

総合計画や総合戦略に基づき、まちづくりの推進に向けて様々な施策に取り組まれている。また、来訪者数100万人を計画目標とされている「民族共生象徴空間」が平成32年に開設されることも、大きな追い風といえる。今後は、多様化していく町民ニーズを捉えた施策や、「民族共生象徴空間」を将来に生かすための貴町全体としての受け入れ態勢整備・機運醸成などを通じたまちづくりへの推進が期待される。